

# 国公立大学広報組織の現状と課題

-2016年全国調査との比較から公立大学を中心に-

2023年10月14・15日 於：多摩美術大学  
日本広報学会第29回研究発表全国大会

追手門学院 谷ノ内識

Satoshi.Taninouchi.fb@otemon.ac.jp

## 【研究背景】

- ・2013年の文部科学省「国立大学プラン」以降、大学の高度専門職として広報、大学経営人材として広報人材の必要性が提示。
  - ・2022年の大学設置基準の改正でも大学経営に必要な業務の一つとして広報が明示化。
- ⇒大学経営に資する広報業務の高度化、広報人材が求められる。  
実態はどうなっているのか？

全国の国公立大学を対象とした  
谷ノ内（2016）「大学における理念の効果と浸透策に関するアンケート調査」  
広報学会学会研究助成Bを受け、国公立大学を対象とした  
谷ノ内（2021）「コロナ禍における大学広報に関するアンケート調査」  
私立大学を対象とした  
谷ノ内（2022）「コロナ禍における大学広報に関するアンケート調査」

## 【目的】

2021年、2022年の広報学会研究発表大会にて国立大学、私立大学の広報業務の高度化について調査・分析結果を発表。  
今回特に公立大学の実態を明らかにする。

## 【研究・調査方法】

- 公立大学の特徴を2016年及び国立大学との比較で把握  
広報を高度化・評価する3つの成果測定指標から分析
1. プロセス評価に基づく指標
  2. アウトプット評価に基づく指標
  3. アウトカム評価に基づく指標
- 高度化に求められるのはアウトカム評価に基づく指標

	対象大学	回答大学	総合大学	単科大学等
国立大学	86校	42校	24校	18校
公立大学	94校	51校	22校	29校

## 【調査結果】

広報担当部署の担当領域（2016年との比較）

		回答大学数	入試募集含む 広報全般	入試募集を除く 広報全般	総務や企画の中で 広報業務
国立大学	2021年調査	42校	16.7%	76.2%	7.1%
	2016年調査	33校	9.1%	75.8%	15.2%
公立大学	2021年調査	51校	31.4%	13.7%	54.9%
	2016年調査	41校	22.0%	39.0%	39.0%

プロセス評価指標を重視しているか？

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる	合計
国立大学	17	19	5	1	42
	40.5%	45.2%	11.9%	2.4%	100%
公立大学	10	28	7	6	51
	19.6%	54.9%	13.7%	11.8%	100%

アウトプット評価指標を重視しているか？

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる	合計
国立大学	23	18	0	1	42
	54.8%	42.9%	0.0%	2.4%	100%
公立大学	13	23	10	5	51
	25.5%	45.1%	19.6%	9.8%	100%

アウトカム評価指標を重視しているか？

	あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる	合計
国立大学	8	15	12	7	42
	19.0%	35.7%	28.6%	16.7%	100%
公立大学	4	13	24	10	51
	7.8%	25.5%	47.1%	19.6%	100%

公立大学 (アンケート回答の)51校を対象に  
2022年度を基準に、当該年度が含まれる中期目標・計画のうち  
「情報公開や情報発信等の推進に関する目標」と「目標を達成する措置」、2022年度の事業計画・事業実績報告を分析。

1. 「目標内容」の成果を抽出し、3つの評価指標で分類
2. 2022年度年次報告における3つの評価指標に対する成果の記述を抽出し、1との対応関係を確認。

評価に関する キーワード	大学数	評価	中期計画 数値目標	2022年度 数値成果 アウトプット	2022年度 数値成果 アウトカム
ブランド、知名度、 認知度、存在感 (の向上)	15大学	アウトカム	4大学	7大学 (HP,SNS数)	0大学
情報発信、広報 (の推進)	17大学	アウトプット	1大学	13大学 (HP,SNS数)	0大学
体制の構築、 情報公表	14大学	プロセス	1大学 (日経BP順位)	7大学 (SNS,HP数)	1大学 (日経BP順位)
非法入化、 非公表 (HP掲載なし)	5大学	－			

## 【先進事例分析】

第3期中期目標・計画：Y大学  
Y大学の強みや特色が広く社会に認知され、  
市民からの信頼や大学の魅力向上につながる効果的な  
情報発信を行う体制。手法を構築する。  
アウトプットの評価指標を設定しており先進的。  
(リクルート)進学ブランド調査(関東エリア)：知名度 60%  
(日経BP)大学ブランドイメージ調査(首都圏版):総合ランキング20位以内

達成指標	中期計画 指標	2022 年度	2021 年度	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度
リクルート 進学ブランド調査 (関東エリア)	知名度 60%	41.1 %	40.7 %	37.4 %	38.6 %	44.9 %	42.0 %
日経BP 大学ブランド イメージ調査 (首都圏版)	総合ラン キング 20位 以内	3 8 位	3 2 位	4 4 位	3 4 位	3 0 位	2 7 位

アウトプット評価指標の設定も必要だがない。  
アウトカム評価指標と施策の整合がない。(プロセス評価)  
そもそもアウトカム評価指標に無理がある。

## 【結論（公立大の現状と課題）】

公立大学は国立大学より評価指標の重視度は高そうだが  
2021年の国立大学に関する発表と比較しても、目標の数値は  
不十分の上、アウトカム評価の数値化もほとんどできていない。  
数少ないアウトカム評価指標を数値化した大学も、アウト  
プット、プロセス評価との関連づけや政策の整合性がとれてお  
らず、アウトカム評価の設定そのものに無理があるように見える。

⇒公立大学においても広報の成果指標の数値化が課題で、  
高度化も進んでいない。